

# Living the LOTUS

Buddhism in Everyday Life



開祖随感

## もうげいこ 迷いを断つ猛稽古

大事な試合やテストなどを前にすると、「大丈夫だ」という心と、「いや、ひょっとすると」という不安と、二つの心がせめぎ合うのですね。そして、一度不安に捕まってしまうと、それにどんどん引きずられてしまいます。

日蓮聖人は「異体同心なれば万事を成ず」と教えられたあと、一人の心であっても二つの心があると、争い合っただけでなにごともうまくいくことがない、とおっしゃっておられます。

どうしたら、この二つの心の葛藤<sup>かっとう</sup>をなくせるかです。

お相撲さんの世界では、不安を克服するには「稽

古しかない」といいます。自分の限界にいどむ稽古によって、「これだけ稽古したのだから、ぜったいに大丈夫だ」と、自分の相撲をとりきる精神力ができてくるというのです。

早朝から全身砂まみれになり、土俵にはいつくばって、もう動くこともできなくなるほどの猛稽古は、技を身につけるのはもちろんのこと、心に迷いが芽生える余地をなくすためでもあるわけです。

常精進<sup>じょうしゅうじん</sup>によってこそ、人生の不安や迷いをなくすことができるのですね。

『開祖随感』9, p. 214-215)

### Living the Lotus 2019年10月号 (Vol.169)

【発行】立正佼成会 国際伝道部

〒166-8537 東京都杉並区和田2-7-1  
普門メディアセンター3F

Tel: 03-5341-1124

Fax: 03-5341-1224

E-mail: [living.the.lotus.rk-international@kosei-kai.or.jp](mailto:living.the.lotus.rk-international@kosei-kai.or.jp)

編集責任者: 齋藤高市

編集チーフ: 鈴木健祐

校閲者: 竹谷祐市郎、小坂和正、菊池克之

編集スタッフ: 国際伝道部スタッフ

立正佼成会は1938年に庭野日敬開祖、長沼妙佼脇祖によって創立された、法華三部経を所依の経典とする在家仏教教団です。家庭や職場、地域社会の中で釈尊の教えを生かし、平和な世界を築いていきたいと願う人々の集まりです。現在は庭野日鏡会長とともに、私たち会員は仏教徒として布教伝道に励みながら、宗教界をはじめ各界の人々と手をたずさえ、国内外でさまざまな平和活動に取り組んでいます。

Living the Lotus—Buddhism in Everyday Life(法華経を生きる～生活の中の仏教)というタイトルには、日々の生活のなかに法華経の教えを活かして、泥水に咲く美しい蓮の花のように、人生を豊かに、そしてより価値あるものにしていきたいとの願いが込められています。本誌を通じて、世界中の人々に日々の生活のなかで活かす仏教の教えをお伝えします。

## 「仏」を供養する

立正佼成会会長 庭野日鏡



### なぜ「仏」がたくさんいるのか

法華経の「授記品」には、釈尊の弟子たちが「あなたも仏になれますよ」と、仏になれる保証を授かる「授記」のくだりが繰り返し出てきます。そのなかで釈尊は、「我が此の弟子摩訶迦葉、未来世に於て当に三百万億の諸仏世尊を奉観して、供養・恭敬・尊重・讚歎し」とか「大迦旃延は当来世に於て、諸の供具を以て八千億の仏に供養し奉事して」など、弟子それぞれに、仏を供養し、尊重することの大切さを、その内容とあわせてくわしく説いています。

それにしても、私たちからすると、「三百万億」や「八千億」といった、計り知れない数の「仏を供養する」と聞いただけで別世界の物語に思えます。「未来世」「当来世」とありますから、生まれ変わり死に変わりを繰り返しながらということでしょうし、これはインド独特の壮大な比喻表現だと理解しても、自分に実践できるとはとても思えません。

また、私たちはふだん、釈尊のように悟った方や、亡くなった方を「仏」や「仏さま」と呼びます。その意味で、私たちにとって「仏」の典型といえば「釈尊」ですから、「八千億の仏」など、仏がたくさんいるという表現も理解しにくいものの一つです。

ただ、人間・釈尊が、悟りに至るまでに会った人や、教えを受けた人、さらには、真理を伝える旅でふれあった人びと、そうした人たちすべてを「仏」と受けとめる見方に立って読むと、先の経文も違って見えてきます。同時に、日々に出会う一人ひとりを、釈尊に倣って「仏」と受けとめるとき、この經典の一節が、私たちの日常生活における実践課題として身に迫ってくるのではないのでしょうか。





## 「供養」の基本は思いやり

目の前の人を「仏」と見るということでは、<sup>りんざいしゅう</sup>臨濟宗を開いた<sup>ぎげんぜんじ</sup>臨濟義玄禪師が、次のような言葉を残しています。

「もし君たちが、仏を外に向かって追い求める心を離れたなら、そのまま仏である。いま、私の目の前でこの説法を聴いている君たちが仏にほかならない」

修行仲間に向けられた言葉ですが、自分は本来、<sup>しょうじょう</sup>清浄な心をもつ仏なのだと自覚すれば、自分も仏、目の前にいる相手も仏ということで、それは「出会う人はみな、すべて仏」と信じ、受けとめることにほかなりません。

人は、死んだ人に手を合わせることはできても、生きている人にはなかなか手を合わせるができないといわれますが、亡くなった人も生きている人も同じ「仏」であれば、目の前の人に「恭敬・尊重・讃歎」の気持ちを示す「供養」を行なうのも、不思議な話ではないどころか、むしろ当たり前のことです。

では、具体的に何をするのか——仏に感謝のまことを捧げる「供養」のなかでいちばん大切なのは、教えを实践することだといわれます。实践をとおして、教えが真実であることを体得する。釈尊のように<sup>じひ</sup>慈悲の心で日々をおくる。やさしくいえば、「人の悩み苦しみが少なくなるように、楽しみが多くなるように」と願って、人を思いやることです。

それが、目の前にいる「仏」に対する供養であり、ひいては、修行・<sup>しょうじん</sup>精進を重ねて得た真実を説いてくださった<sup>そんすう</sup>釈尊、つまり「仏さま」への感謝と尊崇の気持ちをこめた供養となるのです。こうして私たちは、思いやりがあふれる人間になるにつれて、「仏」に近づくのでしょ。

私たち一人ひとりを一枚の布にたとえれば、みんな「仏」になる資質をもったすばらしい「布」です。そこに慈悲——思いやり——の实践という裏地が<sup>ほどこ</sup>施されると、「仏」という最高の「衣」になるということかもしれません。

(『佼成』2019年10月号)





7月27日、立正佼成会の「全米布教60周年記念サンガの集い」がラスベガスで開催され、参加者を代表して4人の会員が「悟りストーリー」と題して信仰体験を発表されました。Spiritual Journeyのページでは、9月号と10月号の2回にわけて、式典で発表された「悟りストーリー」を紹介しています。

## 娘の病気を通して知った本当の幸福の意味

ハワイ教会  
ジョイス・マナロ

アロハ！ 私はハワイ教会から参りましたジョイス・マナロと申します。

私の母は今から40年以上前、私の姉の喘息をきっかけに立正佼成会に入会しました。そしてハワイ教会で、サンデー・サービス、法座、手どりに参加するなど、教会の様々なお役に熱心に取り組むようになりました。

私は家族の絆に結ばれた楽しい家庭の中で成長し、何の心配も悩みもない子ども時代を過ごしました。高校生になって車を運転するようになると、運転のできない母を助けてあげる機会が増えました。教会活動があるときに、車で母や他の会員さんを送っていくのは難しいことではないのですが、自由に過ごせる時間はありませんでした。教会では大勢の会員さんやその家族との出会いがありました。教会の皆さんにはとても親切にいただきましたが、当時の私は母のように熱心な会員になるつもりはありませんでした。

私が信仰に目覚める最初の転機となったのは、教会の青年部活動に誘われたときでした。当時の青年リーダーはアイリーン・オザキさんで、彼女はいつも私に親切にしてくださいました。私は徐々に自分の意志で教会に行くようになり、教会の皆さんと友達になりました。法座は楽しく、經典の勉強会を通して自分とは異なる考え方に目を向けられるようになりました。

その後私は結婚し、長女のヨシミが生まれました。毎日苦労はありましたが、特に大きな問題もなく順調な日々を送っていました。ところが、ヨシミが生後9ヶ月を迎えたある日、突然喘息の発作を起こしたのです。

ある夜、呼吸器につながれたヨシミを前に「なぜ私たちの子が?」「ご法活動もせず、教会にもめったに行かない姉の子が病気もせずに元気なのに、なぜ教会にお参りをし、教えを実践している私の娘が病気にならなければいけないのだろう」「家にご宝前を安置し、教会に行き、活動や研修にも参加して、すべきことはすべてやってきた。それなのに、なぜ娘はこんなに苦しい思いをしなければいけないの?」と、心の中で自問自答を繰り返したことを今も忘れることができません。

そんな時、私にいただいたご指導は「教えの実践をしっかりと自分のものにする」というものでした。大人になって家庭を持ったからには、家族のためにも自分自身のためにもしっかりと教えを実践しなくてはならない時だったのです。私たち家族はたくさんの人生苦を経験しました。乗り越えられそうにないと思った問題もいくつかありました。そのたびに私はご指導を求め、支えていただきました。教会での当番修行による身施と



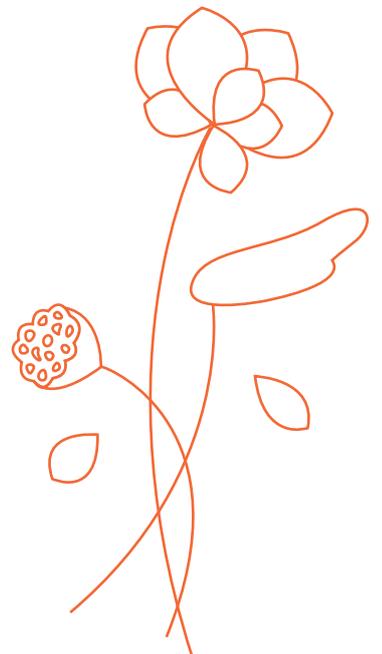
「全米布教60周年記念サンガの集い」で説法するマナロさん

財施の両方の布施行をはじめ、先祖供養やお導き修行をすることなど、たくさんのご指導をいただきました。そうしたさまざまな体験やご指導を通して、私は信仰を深めることができたように思います。

今になって振り返ると、娘の喘息は、私をみ教えと信仰に導くための仏さまのおはからいだったことがわかります。娘の喘息が私の人生に本当の転機を与えてくれたのです。仏さまとみ教えのおかげさまで、私は幸福の本当の意味を知ることができたのです。

現在、私は青年部長のアドバイザーのお役をいただいています。青年たちとの出会いを通して、彼らが今どのような問題を抱えているか知ることができました。これからも青年たちにご法の精神を伝え、彼らが自らの信仰を深めていけるよう努力精進させていただきます。

皆さま、ありがとうございました。





## 仏さまが用意してくださった特別な計画

サンアントニオ支部  
ケヴィン・ロシェ

皆さま、お願いいたします。

今から10年前、本日のようにラスベガスで行なわれた全米布教50周年記念大会が始まる1週間前、私は医師から癌の疑いがあると診断されました。

私は突然の診断結果に驚き、精密検査の結果によってはラスベガス行きの計画をキャンセルしなければならないことを、当時サンアントニオ支部でメンバーの指導をされていた仲村直己布教師さんにお伝えしました。すると、布教師さんは笑顔で「計画を変更する必要はありませんよ。家に帰って、法華三部経の如来寿量品第十六を讀誦してごらん下さい。仏さまはあなたのために特別な計画を用意しておられますよ!」と言われたのです。

そのときは布教師さんが何を言われているのか、私には理解できませんでした。仏教の実践者を自負していた私でしたが、一体どんな「仏」が私に特別な計画を用意してくれているのか、想像すらできませんでした。当時すでに久遠の本仏の教えを学んで

はいましたが、布教師さんの言葉に込められた深い意味には理解が及ばなかったのです。

検査の結果、癌ではなかったことが判明しました。しかし、そうした検査結果を前にしても、私にはまだ、仲村布教師さんが伝えようとしていたことの真意が理解できずにいました。今になって思うのは、ご法には、いくら教えていただいても、体験しなければわからないことがあるということです。

ラスベガスでの大会のあと、仲村布教師さんはお役を退任し、シアトルに引っ越しをされました。そのため、サンアントニオ支部は常駐の教会長を欠いた状態になりました。サンガは新たな指導者を必要としていましたが、私にはお役を引き受けることはできませんでした。癌の診断は免れたものの、いつかは訪れる死への恐怖から、お導きや手どりに打ち込むことができなかつたのです。私にはサンガを率いる自信はありませんでした。そして、自分から教えに道を求めようとはせず、誰かに救ってもらおうとしているだけで、心のよりどころを失った状態でした。このまま指導者不在ではサンガは崩壊してしまうと思いながらも、自分がその責任を負うつもりはありませんでした。サンガは次第にバラバラになり消滅寸前でした。サンガの崩壊を目の当たりにし、自分にもその責任の一端があることを感じたときの絶望感は、とても言葉にできません。

しかし、絶望の中でも、私の背中を押す声は聞こえました。私は、サンガを失いたくないという思いから、現状を何とかしようと真剣に法華経の勉強を始めました。法華経を学んでいくうちに、自分の実践が着実に力をつけていることを感じました。やがて、サンガの仲間が何人かでグループを作り、教えを学び合う機会を



「全米布教60周年記念サンガの集い」で説法するロシェさん

持つようになり、次第にグループの結束は強くなり、参加者の人数も増えて、指導者がいなくても自分たちの力で前に進むことができるようになっていきました。

2013年、私は教師資格を拝受し、仏教の研鑽と佼成会の活動に真剣に取り組むことを誓願しました。常駐の教会長がいなくても、サンガの先頭に立って支部の活動を続ける覚悟ができてつきました。

ところが、その翌年、私の体に癌が見つかりました。治療はできても完治は望めない種類の癌との診断でした。4か月間、私は化学療法による治療を受けましたが、それは私にとってご法に目を開き、教えの理解を深める機会になりました。化学療法を受けている間、妻はずっと私に寄り添い、私の恐怖心を和らげ、元気づけてくれました。無常の教えを実際に体験することが、頭で学ぶことに比べてどれほど大変なことか、私は身をもって知りました。

最後の化学療法を受けているとき、仲村布教師さんが「仏さまはあなたのために特別な計画を用意しておられますよ」と言われたことの意味が、ようやくハッキリとわかりました。「私の命は有限であり、自分の存在は永遠ではないけれども、仏さまの教えを広めようとする私の努力とエネルギーは永遠のいのちをもっている。『久遠の本仏』は私の中に存在し、私の一部となり、私を通して働いている」——そのことに気づいたとき、私はあらゆるものが永遠のいのちを持っていることを実感し、自分が救われたことを感じました。

サンアントニオ支部のサンガを立て直すために、この6年間、私は一生懸命取り組んできました。死への恐怖から解放されたあと、私は「自分」のなかに喜びが生まれ、慈悲の心が育っているのを感じました。その心をまわりの人々にもお伝えしようと、私は毎日精進を重ね、その結果をいただくこともできました。仲村布教師さんが退任されてから10年経った今も、常駐

の教会長さんは不在のままですが、私たちサンアントニオ支部は、アメリカにおける立正佼成会の新たな教会のモデルとして進化しました。サンアントニオ支部は強靱で、柔軟で、活気に満ち、地域性に富んだサンガです。ここには新しく美しい道場があり、日々成長するサンガには、ご法を次世代に伝えていこうと元気に活躍する若き菩薩があふれています。

私にとって何よりもうれしいのは、サンガの将来についてもう深刻に悩む必要がないことです。私にはただ実践あるのみです。「癌は絶えず変化して止まない『私』の一部なのだ」——私はそう受け止め、癌を喜んで受け入れられるようになりました。

「仏さまは私のために特別な計画を用意してくださいました」——そのことを心の底から理解できたことが、私がいいただいた一番大切な気づきになりました。

皆さま、ありがとうございました。

# 法華三部經

## 各品のあらましと要点

### 妙法蓮華經

#### 見宝塔品第十一（前半）

前の《法師品第十》において、お釈迦さまは、末世において法華經の教えを説くものの心構えと、正しくその教えを説く者が受けるであろう功德をお説きになりました。

#### 多宝如来の証明

それを説き終えられたとたんに、目の前の地面から、光明さんぜんたる大塔が瞬時に浮かび出で、天空高くそびえたちました。しかも、その宝塔の中から大音声が響きわたり、「すばらしい。まことにすばらしい。釈迦牟尼世尊は、すべての衆生がひとしく仏となることができる<sup>びょうどうだいえ</sup>と見通す智慧(平等大慧)に基づき、すべての人に菩薩の道を示す教え(教菩薩法)であり、もろもろの仏が秘要として護って(仏所護念)こられた妙法蓮華の教えを、大衆のためにお説きになりました。そのとおりです。釈迦牟尼世尊がお説きになることは、すべて真実であります」とほめたたえ、その教えの真実を証明されるのでした。

人びとはいいしれぬありがたさに打たれていましたが、その中の大衆説菩薩が、「どういうわけで、この宝塔が地から湧きだし、このような大音声が出されたのでしょうか」とおうかがいしますと、お釈迦さまは、「此の宝塔の中に如来の全身います」とお答えになりました。

#### 宝塔は仏性の象徴

このお言葉の意味は実に重大です。如来とは



〈真如から来た人〉という意味ですから、如来の全身がこの塔の中にましまされるというのは、〈真如が完全な相でここにいらっしゃる〉という意味であります。

真如とは、この宇宙のすべての物事を存在たらしめている〈法〉そのもののことです。ほかの言葉でいえば〈根源の法〉であり、〈究極の真理〉です。これを人間に当てはめていけば、その本来の相である〈仏性〉です。従って、この宝塔というのは、〈仏性〉の象徴にほかならないのです。

その塔が天から降ってくるのではなく、地から湧きだしたというのが、これまた大切なことです。〈天〉は人間界から離れた理想の世界をいい、〈地〉は人間と密着した現実の世界をいいます。従って、仏性は他(天)から与えられるものではなく、現実のわれわれ自身(地)の中にあるのであるから、われわれはただそれを自覚すればよいのだということが、ここに示されているのです。

妙法蓮華の教えは、この真理に基づき、万人平等の仏性を自覚し、顕現することによって、この世を救おうという、いわゆる菩薩の道の教えであり、諸仏が最も大事な教えとして護念されるものであります。それをお釈迦さまが初めて大衆のためにお説きになったのですから、これはいくら感謝しても感謝しきれない聖業であり、人類にとって万世にわたる一大事であったわけです。ですから、仏性の大塔の中から、このような大音声が響きわたったのであります。

次にお釈迦さまは、「宝塔の主であられるのは、遙かな東方の世界に出られた多宝如来という仏さまで、その仏さまがまだ菩薩の時代に、『自分が仏となった後、いずれの世界においてでも法華経が説かれるならば、自分はその教えを聞くために、説法会の前に大塔を出現させ、その教えの真実を証明し、賞賛しよう』という大誓願を立てられ、仏となって世を去られる時、『わたしの全身を供養しようと思うならば、一つの大塔を建てよ』と遺言なされた」と、お述べになります。

多宝如来とは、「遙かな東方の国の仏さま」というお言葉で分かるように、実際にこの世に出られた、すがた形のある仏さまではありません。〈真如そのもの〉・〈真理の全相(真理の完全な相)〉を多宝如来と申し上げるのです。真如そのものとか真理の完全な相などといっても、当時の一般大衆にはのみこめなかったために、如来さまという人間らしい形をつけてお釈迦さまはお説きになったわけです。

いつでも、どこでも変わりのないのが真如としての



究極の真理です。この宇宙がはじまって以来いつも、そして宇宙のどこにいても、その真理は変わりなく存在しているのです。その真理は、いろいろな形をとってあらわれるわけですが、その多くのあらわれをひっくるめた統一的な相を、多宝如来に象徴してあるのです。ですから、「多く宝を集めた如来」と名づけられているわけです。

ところで、多宝如来のお言葉の〈大塔を建てよ〉というのは、「すべてのものの仏性を顕現せよ」ということです。それが多宝如来(究極の真理)に対する最大の供養であります。なぜならば、真如としての究極の真理はそのとおりに顕現されることを欲しているのであって、すべてのものの仏性を顕現することが真理の全き相を世にあらわすことにほかならないからです。

(庭野日敬著『法華三部経 各品のあらましと要点』

佼成出版社, 2016年[初版 1991年], p. 110-114)

### 異体同心の心で布教伝道に！

お会式<sup>えしき</sup>・一乗まつりの月を迎えました。南無妙法蓮華経のお題目の元、すべての人々と心一つに、広宣流布の誓いを新たにさせていただく時です。

今月のご法話で会長先生は、授記品を引用くださり、自分も仏、目の前の相手も仏と受けとめ、その仏を供養するには、教えを実践することであるとご指導くださっています。

「一人でも多くの人に法華経に示された人間の生き方を知ってもらい、本当の幸せを自分のものにしていただきたい」と開祖さまは願われていました。

今月は、この開祖さまの願いをわが願いとして、教えの最高の実践である布教伝道に精一杯取り組ませていただきたいと思います。

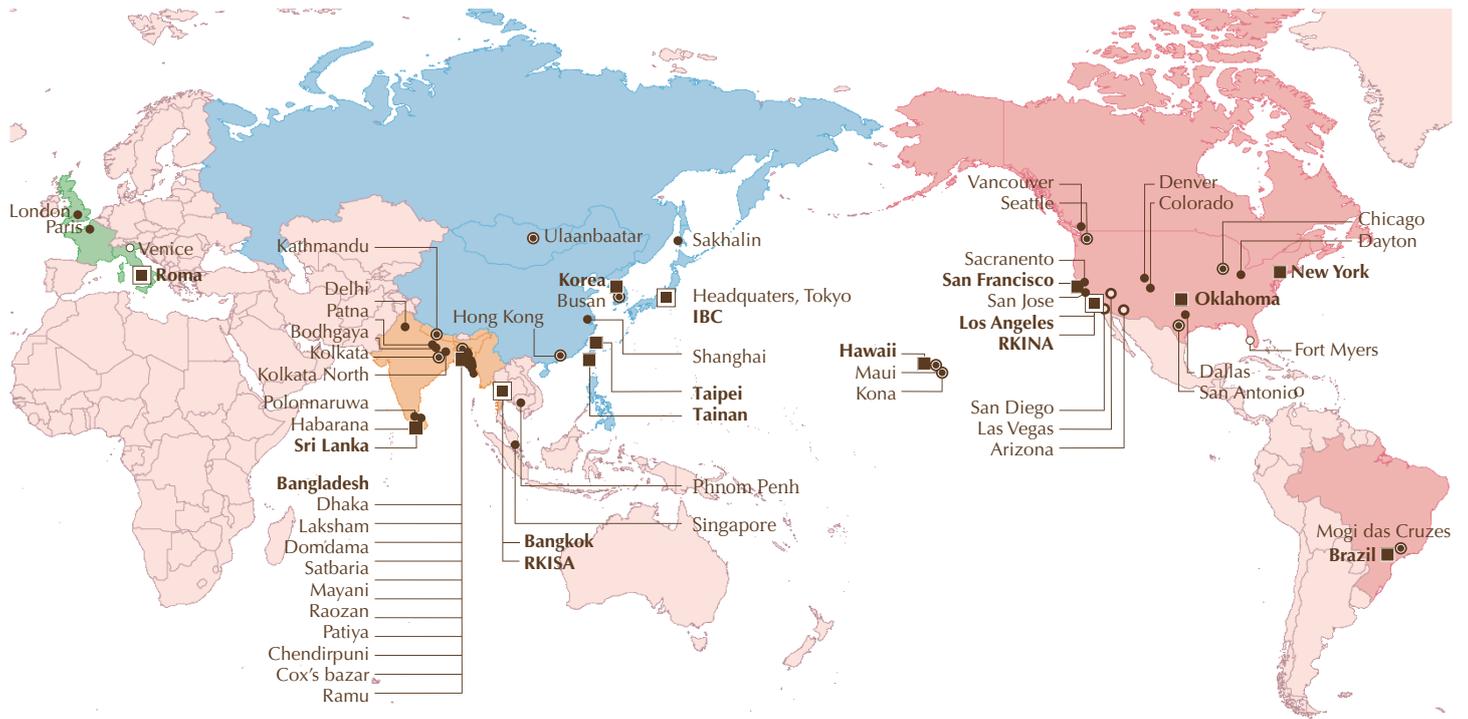
一人が一人を導こう!!

国際伝道部長  
齋藤 高市



✉ Living the Lotus では、皆様のご意見・ご感想を募集しています。  
お問い合わせは、以下の E メールアドレスにお願い致します。  
E メール : [living.the.lotus.rk-international@kosei-kai.or.jp](mailto:living.the.lotus.rk-international@kosei-kai.or.jp)

# Rissho Kosei-kai: A Global Buddhist Movement



## Rissho Kosei-kai Buddhist Church of Hawaii

2280 Auhuhu Street, Pearl City, HI 96782, USA  
 TEL: 1-808-455-3212 FAX: 1-808-455-4633  
 Email: [info@rkhawaii.org](mailto:info@rkhawaii.org) URL: <http://www.rkhawaii.org>

## Rissho Kosei-kai Maui Dharma Center

1817 Nani Street, Wailuku, HI 96793, USA  
 TEL: 1-808-242-6175 FAX: 1-808-244-4625

## Rissho Kosei-kai Kona Dharma Center

73-4592 Mamalahoa Highway, Kailua-Kona, HI 96740, USA  
 TEL: 1-808-325-0015 FAX: 1-808-333-5537

## Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Los Angeles

2707 East First Street, Los Angeles, CA 90033, USA  
 POBox 33636, CA 90033, USA  
 TEL: 1-323-269-4741 FAX: 1-323-269-4567  
 Email: [rk-la@sbcglobal.net](mailto:rk-la@sbcglobal.net) URL: <http://www.rkina.org/losangeles.html>

Please contact Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Los Angeles

- Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Arizona**
- Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Colorado**
- Rissho Kosei-kai Buddhist Center of San Diego**
- Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Las Vegas**
- Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Dallas**

## Rissho Kosei-kai of San Francisco

1031 Valencia Way, Pacifica, CA 94044, USA  
 POBox 778, Pacifica, CA 94044, USA  
 TEL: 1-650-359-6951 FAX: 1-650-359-6437  
 Email: [info@rksf.org](mailto:info@rksf.org) URL: <http://www.rksf.org>

Please contact Rissho Kosei-kai of San Francisco

- Rissho Kosei-kai of Sacramento**
- Rissho Kosei-kai of San Jose**

## Rissho Kosei-kai of New York

320 East 39th Street, New York, NY 10016, USA  
 TEL: 1-212-867-5677 Email: [rksny39@gmail.com](mailto:rksny39@gmail.com) URL: <http://rk-ny.org>

## Rissho Kosei-kai of Chicago

1 West Euclid Ave., Mt. Prospect, IL 60056, USA  
 TEL: 1-773-842-5654  
 Email: [murakami4838@aol.com](mailto:murakami4838@aol.com) URL: <http://rkchi.org>

## Rissho Kosei-kai of Fort Myers

URL: <http://www.rkftmyersbuddhism.org>

## Rissho Kosei-kai Dharma Center of Oklahoma

2745 N.W. 40th St., Oklahoma City, OK 73112, USA  
 POBox 57138, Oklahoma City, OK 73157, USA  
 TEL: 1-405-943-5030 FAX: 1-405-943-5303  
 Email: [rkokdc@gmail.com](mailto:rkokdc@gmail.com) URL: <http://www.rkok-dharmacenter.org>

## Rissho Kosei-kai Dharma Center of Denver

1255 Galapago St. #809 Denver, CO 80204, USA  
 TEL: 1-303-446-0792

## Rissho Kosei-kai Dharma Center of Dayton

617 Kling Drive, Dayton, OH 45419, USA  
 URL: <http://www.rkina-dayton.com>

## The Buddhist Center Rissho Kosei-kai International of North America (RKINA)

2707 East First St., Suite #1, Los Angeles, CA 90033, USA  
 TEL: 1-323-262-4430 FAX: 1-323-262-4437  
 Email: [info@rkina.org](mailto:info@rkina.org) URL: <http://www.rkina.org>

## Rissho Kosei-kai Buddhist Center of San Antonio

(Address) 6083 Babcock Road, San Antonio, TX 78240, USA  
 (Mail) POBox 692042, San Antonio, TX 78269, USA  
 TEL: 1-210-561-7991 FAX: 1-210-696-7745  
 Email: [dharmasanantonio@gmail.com](mailto:dharmasanantonio@gmail.com)  
 URL: <http://www.rkina.org/sanantonio.html>

## Rissho Kosei-kai of Seattle's Buddhist Learning Center

28621 Pacific Highway South, Federal Way, WA 98003, USA  
 TEL: 1-253-945-0024 FAX: 1-253-945-0261  
 Email: [rkseattlewashington@gmail.com](mailto:rkseattlewashington@gmail.com)  
 URL: <http://buddhistlearningcenter.org>

## Rissho Kosei-kai of Vancouver

Please contact RKINA

## Rissho Kosei-kai do Brasil

Rua Dr. José Estefno 40, Vila Mariana, São Paulo-SP, CEP 04116-060, Brasil  
 TEL: 55-11-5549-4446, 55-11-5573-8377  
 Email: [risho@rkk.org.br](mailto:risho@rkk.org.br) URL: <http://www.rkk.org.br>

Facebook: <https://www.facebook.com/rishokosseikaidobrasil>  
Instagram: <https://www.instagram.com/rkkbrasil>

**Rissho Kosei-kai de Mogi das Cruzes**

Av. Ipiranga 1575-Ap 1, Mogi das Cruzes-SP, CEP 08730-000, Brasil

**在家佛教韓國立正佼成會**

〒 04420 大韓民國 SEOUL 特別市龍山區漢南大路 8 路 6-3  
6-3, 8 gil Hannamdaero Yongsan gu, Seoul, 04420, Republic of Korea  
TEL: 82-2-796-5571 FAX: 82-2-796-1696

**在家佛教韓國立正佼成會釜山支部**

〒 48460 大韓民國釜山廣域市南區水營路 174, 3F  
3F, 174 Suyoung ro, Nam gu, Busan, 48460, Republic of Korea  
TEL: 82-51-643-5571 FAX: 82-51-643-5572

**社團法人在家佛教立正佼成會**

台灣台北市中正區衡陽路 10 號富群資訊大廈 4 樓  
4F, No. 10, Hengyang Road, Jhongheng District, Taipei City 100, Taiwan  
TEL: 886-2-2381-1632, 886-2-2381-1633 FAX: 886-2-2331-3433

**台南市在家佛教立正佼成會**

台灣台南市崇明 23 街 45 號  
No. 45, Chongming 23rd Street, East District, Tainan City 701, Taiwan  
TEL: 886-6-289-1478 FAX: 886-6-289-1488  
Email: koseikaitainan@gmail.com

**Rissho Kosei-kai South Asia Division**

Thai Rissho Friendship Foundation  
201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkok, Huaykhwang, Bangkok 10310, Thailand  
TEL: 66-2-716-8216 FAX: 66-2-716-8218

**Rissho Kosei-kai of Kathmandu**

Ward No. 3, Jhamsikhel, Sanepa-1, Lalitpur, Kathmandu, Nepal

**Rissho Kosei-kai of Kolkata**

E-243 B. P. Township, P. O. Panchasayar, Kolkata 700094, India

**Rissho Kosei-kai of Kolkata North**

AE/D/12 Arjunpur East, Teghoria, Kolkata 700059, West Bengal, India

**Rissho Kosei-kai of Bodhgaya Dharma Center**

Ambedkar Nagar, West Police Line Road, Rumpur, Gaya-823001,  
Bihar, India

**Rissho Kosei-kai of Patna Dharma Center**

**Rissho Kosei-kai of Central Delhi**

77 Basement D.D.A. Site No. 1, New Rajinder Nagar,  
New Delhi 110060, India

**Rissho Kosei-kai of Singapore**

**Rissho Kosei-kai of Phnom Penh**

W.C. 73, Toul Sampaov Village, Sangkat Toul Sangke, Khan Reouseykeo,  
Phnom Penh, Cambodia

**RKISA Rissho Kosei-kai International of South Asia**

Thai Rissho Friendship Foundation  
201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkok, Huaykhwang, Bangkok 10310, Thailand  
TEL: 66-2-716-8141 FAX: 66-2-716-8218

**Rissho Kosei-kai of Bangkok**

Thai Rissho Friendship Foundation  
201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkok, Huaykhwang, Bangkok 10310, Thailand  
TEL: 66-2-716-8216 FAX: 66-2-716-8218 Email: info.thairissho@gmail.com

**Rissho Kosei Dhamma Foundation**

No. 628-A, Station Road, Hunupitiya, Wattala, Sri Lanka  
TEL: 94-11-2982406 FAX: 94-11-2982405

**Rissho Kosei-kai of Polonnaruwa**

**Rissho Kosei-kai Bangladesh**

85/A Chanmari Road, Lalkhan Bazar, Chittagong, Bangladesh  
TEL/FAX: 880-31-626575

**Rissho Kosei-kai Mayani**

Mayani Barua Para, Mirsarai, Chittagong, Bangladesh

**Rissho Kosei-kai Damdama**

Damdama Barua Para, Mirsarai, Chittagong, Bangladesh

**Rissho Kosei-kai Patiya**

China Clinic, Patiya Sadar, Patiya, Chittagong, Bangladesh

**Rissho Kosei-kai Satbaria**

Village: Satbaria Bepari Para, Chandanaih, Chittagong, Bangladesh

**Rissho Kosei-kai Chendhirpuni,**

Village: Chendhirpuni, P.O.: Adhunogar, P.S.: Lohagara, Chittagong,  
Bangladesh

**Rissho Kosei-kai Dhaka**

408/8 DOSH, Road No 7 (West), Baridhara, Dhaka, Bangladesh

**Rissho Kosei-kai Laksham**

Village: Dhupchor, Laksham, Comilla, Bangladesh

**Rissho Kosei-kai Cox's Bazar**

Ume Burmize Market, Tekpara, Sadar, Cox's Bazar, Bangladesh

**Rissho Kosei-kai Cox's Bazar, Ramu Shibu**

**Rissho Kosei-kai Raozan**

Dakkhin Para, Ramzan Ali Hat, Raozan, Chittagong, Bangladesh

**Buddiyskiy khram "Lotos"**

4 Gruzinski Alley, Yuzhno-Sakhalinsk 693005, Russia  
TEL: 7-4242-77-05-14

**Rissho Kosei-kai of Hong Kong**

Flat D, 5/F, Kiu Hing Mansion, 14 King's Road, North Point, Hong Kong, China

**Rissho Kosei-kai Friends in Shanghai**

**Rissho Kosei-kai of Ulaanbaatar**

(Address) 15F Express Tower, Peace avenue, khoro-1, Chingeltei district,  
Ulaanbaatar 15160, Mongolia

(Mail) POBox 1364, Ulaanbaatar-15160, Mongolia

TEL: 976-70006960 Email: rkkmongolia@yahoo.co.jp

**Rissho Kosei-kai of Erdenet**

2F Ikh Mandal building, Khurenbulag bag, Bayan-Undur sum,  
Orkhon province, Mongolia

**Rissho Kosei-kai di Roma**

Via Torino, 29, 00184 Roma, Italia  
TEL/FAX: 39-06-48913949 Email: roma@rk-euro.org

**Rissho Kosei-kai of the UK**

**Rissho Kosei-kai of Paris**

**Rissho Kosei-kai of Venezia**

**Rissho Kosei-kai International Buddhist Congregation (IBC )**

166-8537 東京都杉並区和田 2-7-1 普門メディアセンター 3F  
Fumon Media Center 3F, 2-7-1 Wada, Suginami-ku, Tokyo 166-8537, Japan  
TEL: 03-5341-1230 FAX: 03-5341-1224 URL: <http://www.ibt-rk.org>